

安全データシート

(S D S)

1. 化学品及び会社情報
 化学品の名称（製品名）：コバゾール SH-11VT

会社名：株式会社コバヤシ
 住所：〒124-0013 東京都葛飾区東立石3-17-3
 担当部門：コバゾール事業部 品質保証課
 電話番号：03-3691-2220 FAX：03-3691-8100
 緊急連絡電話番号：同上
 推奨用途及び使用上の制限：被覆材用途推奨

2. 危険有害性の要約
 【GHS分類】

物理化学的危険性	
火薬類	: 分類対象外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外
エアゾール	: 分類対象外
支燃性・酸化性ガス	: 分類対象外
高圧ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 区分外
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 区分外
自然発火性固体	: 分類対象外
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性	: 分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	: 区分外
（経皮）	: 区分外
（吸入：ガス）	: 分類対象外
（吸入：蒸気）	: 分類できない
（吸入：粉塵）	: 分類対象外
（吸入：ミスト）	: 区分外
皮膚腐食性及び刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	: 区分2B
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
標的臓器／全身毒性（単回暴露）	: 分類できない
標的臓器／全身毒性（反復暴露）	: 区分外
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
水生環境有害性（急性）	: 区分外
水生環境有害性（慢性）	: 区分外
オゾン層への有害性	: 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示：なし

注意喚起語：警告

危険有害性情報：眼刺激

注意書き：【安全対策】

取扱い後はよく手を洗う

全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと
環境への放出は避けること

【応急措置】

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること
漏出物を回収すること

【保管】

「7. 取扱い及び保管上の注意」による

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物
化学名又は一般名（別名）：PVCコンパウンド(プラスチック)
成分及び濃度又は濃度範囲（主成分または危険有害成分対象）

成分名	CAS No.	含有量%	備考
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	45~55	
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	117-81-7	4.7	PRTR法第一種、安衛法通知対象

4. 応急措置

吸入した場合：分解・燃焼による蒸気ガスを多量に吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、必要に応じ医師の診断を受ける
皮膚に付着した場合：多量の水および石鹼で洗い流す
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること
飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。直ちに医師の手当、診断を受けること

5. 火災時の措置

消火剤：粉末・炭酸ガス(二酸化炭素)・泡
使ってはならない消化剤：水
特有の危険有害性：特になし
特有の消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。
大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所へ移す。
消化を行う者の保護：保護衣を着用すること

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり粉じん、ガスを吸入しないようにする。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
：少量の場合は、吸着剤（おがくず、土、砂、ウェス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウェス、雑巾等でよく拭き取る。
多量の場合は、盛土で囲って流出を防止し安全な場所に導いてから処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
安全取扱注意事項：眼、皮膚接触を防ぐため、適切な保護具を着用する。
保管
安全な保管条件：変質を避けるため密封し、直射日光・湿気を避け常温・低湿の屋内に保管する。
容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、荷崩れの防止を確実にを行う。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	: 日本産業衛生学会(2005年度版) ; 設定なし 但し、5mg/m ³ (DOPとして)
	ACGIH(2005年度版) ; 設定なし 但し、5mg/m ³ (TLV-TWA DOPとして)
設備対策	: 局所排気装置の使用又は全体換気を適切に行うことが望ましい。 取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を表示する。
保護具	: 状況に応じて防毒マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外 観	: ペースト状液体 (色は要求色)
臭 い	: 殆ど無臭
臭いの閾値	: 知見なし
p h	: 知見なし
融点・凝固点	: 測定できない
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 測定できない
引 火 点	: 測定できない
蒸発速度	: 知見なし
燃焼性(固体、液体)	:
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: 知見なし
蒸 気 圧	: 混合物として知見なし
蒸気密度	: 混合物として知見なし
比 重	: 1.2±0.2/23°C
溶 解 度	: 水に不溶、トルエン、酢酸エチル、アセトン等に可溶。(無機分は不溶)
n-オクタン-水分配係数	: 知見なし
分解温度	: 70°C以上
粘度(粘性率)	: 500mPa・s以上

10. 安定性及び反応性

反 応 性	: 通常の手扱い条件において安定
化学的安定性	: 通常の手扱い条件において安定
危険有害反応可能性	: 知見なし
避けるべき条件	: 知見なし
混触危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 燃焼により二酸化炭素及び一酸化炭素、塩化水素を生成

11. 有害性情報

急性毒性	: DOPとして	LD50(経口)	ラット	30g/Kg
		LD50(経口)	ウサギ	34g/Kg
		LD50(経皮)	ウサギ	25g/Kg 区分外
		LD50(経皮)	ウサギ	25g/Kg 区分外
		LD50(吸入:蒸気)	データなし(分類できない)	
		LD50(吸入:ミスト)	ラット	>15.68mg/L 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外 ・DOPとして ウサギ 500mg/24H Mild			
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 区分2B ・DOPとして ウサギ 500mg/24H Mild ACGIH(7th,2001)、ATSDR(2002)、EHC 131(1992)、EU-RAR No.42(2003)の記述から、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)は眼刺激性なし又は軽微な眼刺激性を有すると考えられ、軽微な刺激性があるという試験結果に基づいて、区分2Bとした。			
呼吸器感受性	: データなし(分類できない)			
皮膚感受性	: 区分外			
生殖細胞変異原性	: 区分外			
発がん性	: 区分外			
生殖毒性	: 区分外			
標的臓器/全身毒性	:			
(単回暴露)	: データ不足のため分類できない			
(反復暴露)	: 区分外			
吸引性呼吸器有害性	: データなし(分類できない)			

12. 環境影響情報

- 生態毒性 : 混合物として知見なし
 残留性・分解性 : 混合物として知見なし
 生態蓄積性 : 混合物として知見なし
 土壤中の移動性 : 混合物として知見なし
 水生環境有害性 (急性) : 区分外
 ・DOPとして
 水溶解度 (0.003mg/L) までの濃度での急性毒性が報告されていない
 (参考) メダカ LC50 : 75mg/L
 ニジマス LC50 : 540mg/L
 水生環境有害性 (慢性) : 区分外
 ・DOPとして
 良分解性であり、かつ生物蓄積性が低いことから
 オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

「7. 取扱い及び保管上の注意」による他、廃棄する場合は、関連法規に従って適切な設備で焼却するか、産業廃棄物処理業者に処分を委託する。
 空容器は内容物を完全に除去した後、産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

14. 輸送上の注意

- 国際規制
 国連分類 : 国連の分類基準に該当しない
 国連番号 : 該当しない
 品名 : 該当しない
 容器等級 : 該当しない

「7. 取扱い及び保管上の注意」による他、容器毎に栓の閉まり具合、漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、摩擦等容器の損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

- 消防法 : 非該当
 労働安全衛生法 : 57条の2「通知対象物質」を含有する。
 P R T R 法 : 対象物質を含有する。第一種 No.355:47%
 毒物劇物取締法 : 非該当
 外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1の16項に該当

16. その他の情報

- 引用文献 : JIS Z 7250:2010 化学物質等安全データシート (MSDS) - 内容及び項目の順序
 JIS Z 7251:2010 GHSに基づく化学物質等の表示
 JIS Z 7252:2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法
 JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
 ラベル・製品安全データシート 作成実務必携 GHS対応 国内版 化学工業日報社

※ 本書類に記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願い致します。